



## 2023年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年6月12日

上場会社名 正栄食品工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8079 URL https://shoeifoods.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)本多 市郎  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画部長 (氏名)加納 一徳 (TEL)03(3253)1211  
 四半期報告書提出予定日 2023年6月13日 配当支払開始予定日 2023年7月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年10月期第2四半期の連結業績(2022年11月1日~2023年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第2四半期	55,771	4.7	2,097	△22.0	2,082	△26.1	1,349	△27.6
2022年10月期第2四半期	53,242	—	2,692	△16.0	2,819	△13.8	1,863	△14.1

(注) 包括利益 2023年10月期第2四半期 358百万円(△88.8%) 2022年10月期第2四半期 3,217百万円(10.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第2四半期	80.11	—
2022年10月期第2四半期	110.72	—

(注) 前第1四半期連結累計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。2022年10月期第2四半期に係る各数値については当該会計基準等を適用した後の金額となっており、売上高の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第2四半期	86,219	49,136	55.9
2022年10月期	82,851	49,158	58.2

(参考) 自己資本 2023年10月期第2四半期 48,221百万円 2022年10月期 48,272百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2023年10月期	—	24.00	—	—	—
2023年10月期(予想)	—	—	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年10月期の連結業績予想(2022年11月1日~2023年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	100,000	△3.0	2,500	△33.3	2,450	△40.1	1,600	△42.6
								95.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年10月期2Q	17,100,000株	2022年10月期	17,100,000株
2023年10月期2Q	257,451株	2022年10月期	263,300株
2023年10月期2Q	16,838,354株	2022年10月期2Q	16,832,962株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	増減率
売上高	53,242	55,771	4.7%
営業利益	2,692	2,097	△22.0%
経常利益	2,819	2,082	△26.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,863	1,349	△27.6%

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行が決定され、海外との往来も緩和されるなど、ポストコロナに向けた対応が進みました。食品業界におきましては、インバウンド復活による土産物や外食が活性化する一方、原材料価格等に対応した値上げが継続しました。このような状況にあつて当社グループでは、リテールの新ブランド「Kono:me (コノミイ)」の立ち上げに加え、原料分野でも次回商品展示会に向けた商品開発に注力しました。

これらの結果、売上面につきましては、乳製品・油脂類、乾果実・缶詰類など日本国内での売上が総じて好調に推移したことから、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は前年同期比4.7%増の557億71百万円となりました。

利益面につきましては、エネルギー価格等のコスト上昇による日本セグメントでの利益減少とクルミの市場価格低下等による米国での農園事業の採算低下等により、営業利益は同22.0%減の20億97百万円となりました。経常利益については為替評価損の計上等から、同26.1%減の20億82百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同27.6%減の13億49百万円となりました。

当第2四半期の品目別の業績は次の通りであります。

(単位：百万円)

	前連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)		当連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)		前期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
乳製品・油脂類	16,598	31.2%	17,409	31.2%	810	4.8%
製菓原材料類	9,150	17.2%	9,558	17.1%	407	4.4%
乾果実・缶詰類	17,483	32.8%	18,224	32.7%	741	4.2%
菓子・リテール商品類	9,819	18.4%	10,406	18.7%	587	5.9%
その他	190	0.4%	172	0.3%	△18	△9.5%
合計	53,242	100.0%	55,771	100.0%	2,529	4.7%

所在地別セグメントの経営成績は次のとおりであります。

① 日本

当地域の売上高は、フルーツ加工品、外食用食材、リテール向けドライフルーツ小袋、輸入乳製品等、総じて好調に推移したことから、前年同期比5.0%増の509億76百万円となりました。

セグメント利益は、エネルギーコスト、輸入原料価格等の上昇による利益率の低下により、同21.0%減の19億41百万円となりました。

② 米国

当地域の売上高は、主力のクルミで販売物量は増加しましたが、市場価格の低下により販売単価が低下したこと等から、前年同期比13.4%減の41億42百万円となりました。

セグメント利益は、クルミ価格の低下による農園事業の採算低下が大きく、同31.2%減の3億79百万円となりました。

③ 中国

当地域の売上高は、中国産シード類の輸出や中国内での売上は減少しましたが、香港地区での売上が好調であったことから、前年同期比3.4%増の38億96百万円となりました。

セグメント利益は、香港での販売好調もあり赤字幅は縮小しましたが、中国国内販売での採算改善にはつながらず、45百万円のセグメント損失となり、赤字が継続しました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ33億68百万円増加し、862億19百万円となりました。その主な要因は、流動資産については、「現金及び預金」が13億33百万円、「前渡金」が2億35百万円それぞれ減少したものの、「受取手形及び売掛金」が43億36百万円、「商品及び製品」が14億89百万円、「仕掛品」が2億24百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ35億99百万円増加し、551億98百万円となりました。固定資産は、投資その他の資産が2億42百万円増加したものの、有形固定資産が4億78百万円減少したことから、前連結会計年度末に比べ2億31百万円減少し、310億21百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ33億89百万円増加し、370億82百万円となりました。その主な要因は、流動負債については、「1年内返済予定の長期借入金」が8億80百万円、「賞与引当金」が1億46百万円それぞれ減少したものの、「支払手形及び買掛金」が23億48百万円、「短期借入金」が7億78百万円、「未払金」が3億8百万円、「未払法人税等」が1億76百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ25億27百万円増加し、296億17百万円となりました。固定負債は、「長期借入金」が8億4百万円増加したことから、前連結会計年度末に比べ8億62百万円増加し、74億65百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ21百万円減少し、491億36百万円となりました。その主な要因は、「その他有価証券評価差額金」が3億18百万円増加したものの、「繰延ヘッジ損益」が4億22百万円、「為替換算調整勘定」が9億31百万円それぞれ減少したことによるものです。

② 資産、負債及び純資産の状況

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、4億47百万円(前年同四半期比5億31百万円減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益20億80百万円、減価償却費14億21百万円、引当金の減少1億28百万円、売上債権の増加45億3百万円、棚卸資産の増加18億87百万円、仕入債務の増加24億37百万円、その他の流動資産の減少3億92百万円、利息及び配当金の受取額1億50百万円、法人税等の支払額4億25百万円等によるものです。

前年同四半期比で使用した資金が減少となりました要因は、税金等調整前四半期純利益が7億32百万円減少、売上債権の増減額が1億59百万円増加、仕入債務の増減額が5億16百万円減少したものの、為替差損益が1億24百万円増加、棚卸資産の増減額が16億86百万円減少、その他の流動資産の増減額が2億4百万円減少、法人税等の支払額が1億74百万円減少したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、9億51百万円(前年同四半期比50百万円増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得等によるものです。

前年同四半期比で使用した資金が増加となりました要因は、有形固定資産の取得による支出額が44百万円増加したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、3億7百万円(前年同四半期は1億84百万円の資金の減少)となりました。これは主に、短期借入金の純増減額8億9百万円、配当金の支払額4億4百万円等によるものです。

前年同四半期比で資金が増加となりました要因は、短期借入の純増額が4億90百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月期の連結業績予想は、2023年3月14日に公表いたしました内容から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,867,293	6,533,482
受取手形及び売掛金	20,285,365	24,621,929
商品及び製品	17,619,921	19,109,672
仕掛品	1,017,000	1,241,010
原材料及び貯蔵品	2,743,091	2,679,792
前渡金	584,685	349,474
その他	1,485,059	667,168
貸倒引当金	△3,626	△3,942
流動資産合計	51,598,792	55,198,586
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,672,234	13,161,675
機械装置及び運搬具（純額）	6,597,078	6,432,104
工具、器具及び備品（純額）	334,023	346,611
土地	3,535,308	3,554,300
リース資産（純額）	60,927	67,613
建設仮勘定	350,932	545,032
その他（純額）	351,109	315,866
有形固定資産合計	24,901,613	24,423,204
無形固定資産		
ソフトウェア	127,268	124,185
その他	151,971	159,429
無形固定資産合計	279,239	283,615
投資その他の資産		
投資有価証券	3,569,486	3,946,625
保険掛金	25,249	29,080
繰延税金資産	232,256	261,504
長期前払金	1,945,050	1,787,007
その他	390,976	380,167
貸倒引当金	△90,794	△89,840
投資その他の資産合計	6,072,223	6,314,545
固定資産合計	31,253,077	31,021,365
資産合計	82,851,870	86,219,951

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,579,403	12,927,532
短期借入金	8,803,952	9,582,613
1年内返済予定の長期借入金	3,251,476	2,371,476
未払金	2,098,822	2,406,977
未払法人税等	388,111	564,288
賞与引当金	918,285	771,768
役員賞与引当金	10,767	18,600
その他	1,039,897	974,692
流動負債合計	27,090,716	29,617,948
固定負債		
長期借入金	5,038,133	5,842,395
繰延税金負債	174,558	205,653
退職給付に係る負債	924,580	923,162
役員退職慰労引当金	79,499	88,831
その他	385,708	404,979
固定負債合計	6,602,479	7,465,022
負債合計	33,693,195	37,082,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,379,736	3,379,736
資本剰余金	3,055,283	3,059,298
利益剰余金	37,341,125	38,286,077
自己株式	△910,568	△890,421
株主資本合計	42,865,576	43,834,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,546,959	1,865,366
繰延ヘッジ損益	422,721	△38
為替換算調整勘定	3,548,784	2,617,706
退職給付に係る調整累計額	△111,845	△96,292
その他の包括利益累計額合計	5,406,620	4,386,743
非支配株主持分	886,477	915,546
純資産合計	49,158,674	49,136,980
負債純資産合計	82,851,870	86,219,951



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
売上高	53,242,085	55,771,302
売上原価	44,246,198	47,039,227
売上総利益	8,995,887	8,732,074
販売費及び一般管理費	6,303,397	6,634,325
営業利益	2,692,489	2,097,749
営業外収益		
受取利息	5,606	5,674
受取配当金	33,048	36,403
為替差益	59,658	-
持分法による投資利益	13,377	11,561
保険配当金	33,106	3,053
受取保険金	612	1,648
出資配当金	-	33,050
工場誘致奨励金	-	35,091
その他	41,107	34,475
営業外収益合計	186,518	160,957
営業外費用		
支払利息	58,376	62,896
為替差損	-	112,263
その他	1,574	725
営業外費用合計	59,951	175,886
経常利益	2,819,056	2,082,820
特別利益		
固定資産売却益	313	3,278
特別利益合計	313	3,278
特別損失		
固定資産除却損	6,099	5,140
固定資産売却損	136	6
特別損失合計	6,236	5,146
税金等調整前四半期純利益	2,813,133	2,080,952
法人税、住民税及び事業税	906,445	659,027
法人税等調整額	5,057	46,899
法人税等合計	911,502	705,927
四半期純利益	1,901,631	1,375,025
非支配株主に帰属する四半期純利益	37,755	25,991
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,863,875	1,349,033

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
四半期純利益	1,901,631	1,375,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△131,082	321,483
繰延ヘッジ損益	379,050	△422,759
為替換算調整勘定	1,057,741	△931,077
退職給付に係る調整額	10,491	15,552
その他の包括利益合計	1,316,200	△1,016,800
四半期包括利益	3,217,831	358,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,182,328	329,156
非支配株主に係る四半期包括利益	35,503	29,068

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,813,133	2,080,952
減価償却費	1,462,919	1,421,858
支払利息	58,376	62,896
為替差損益(△は益)	△45,723	78,437
引当金の増減額(△は減少)	△158,536	△128,031
売上債権の増減額(△は増加)	△4,344,529	△4,503,723
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,574,528	△1,887,801
仕入債務の増減額(△は減少)	2,954,257	2,437,621
その他の流動資産の増減額(△は増加)	187,661	392,243
その他	277,916	△66,775
小計	△369,052	△112,322
利息及び配当金の受取額	54,270	150,059
利息の支払額	△63,920	△59,371
法人税等の支払額	△600,450	△425,857
営業活動によるキャッシュ・フロー	△979,153	△447,491
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△886,493	△930,502
有形固定資産の売却による収入	234	6,345
投資有価証券の取得による支出	△10,697	△11,380
その他	△4,380	△16,190
投資活動によるキャッシュ・フロー	△901,335	△951,727
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	319,060	809,191
長期借入金の返済による支出	△75,738	△3,175,738
長期借入れによる収入	-	3,100,000
自己株式の取得による支出	△685	△515
リース債務の返済による支出	△23,539	△21,361
配当金の支払額	△403,954	△404,080
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184,857	307,495
現金及び現金同等物に係る換算差額	366,219	△242,089
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,699,126	△1,333,811
現金及び現金同等物の期首残高	9,858,617	7,867,293
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,159,490	6,533,482

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年11月1日至2022年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	48,179,792	2,744,279	2,316,685	53,240,757	—	53,240,757
その他の収益(注) 3	1,327	—	—	1,327	—	1,327
外部顧客への売上高	48,181,120	2,744,279	2,316,685	53,242,085	—	53,242,085
セグメント間の 内部売上高又は振替高	356,175	2,044,543	1,450,138	3,850,857	△3,850,857	—
計	48,537,295	4,788,822	3,766,824	57,092,942	△3,850,857	53,242,085
セグメント利益又は損失(△)	2,458,342	551,929	△158,783	2,851,488	△158,999	2,692,489

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△158,999千円には、セグメント間消去10,540千円、全社費用△169,540千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年11月1日至2023年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	50,547,940	2,602,152	2,619,882	55,769,975	—	55,769,975
その他の収益(注) 3	1,327	—	—	1,327	—	1,327
外部顧客への売上高	50,549,267	2,602,152	2,619,882	55,771,302	—	55,771,302
セグメント間の 内部売上高又は振替高	427,372	1,540,572	1,276,263	3,244,208	△3,244,208	—
計	50,976,639	4,142,724	3,896,146	59,015,510	△3,244,208	55,771,302
セグメント利益又は損失(△)	1,941,519	379,625	△45,940	2,275,204	△177,455	2,097,749

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△177,455千円には、セグメント間消去△10,914千円、全社費用△166,541千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等であります。